



## 児童会活動が活発です

2学期の後半も、児童会各委員会が活発に行事を計画・実施し、学校の雰囲気を盛り上げています。火曜日の“わんぱくタイム”や休み時間を上手に活用しての活動です。授業時間以外で行われる児童会イベントは基本的に自由参加です。それでもたくさんの子どもたちが自分の意志で参加します。子どもたちが自らの手で、学校生活に楽しみやつながりや潤いを生み出してくれていることがとてもうれしいです。

### 健康ウォークラリー 12月2日



健康委員会が主催しました。クイズをしたり、体を動かしたりしながら、健康について知識を深め、考える機会となりました。

### 紙ひこうき大会 11月27日



子どもたちが持ち寄った紙ひこうきを一斉に飛ばして、どこまで飛ぶのかを競いました。シンプルで楽しい行事でした。

### 風船バレー大会 12月12日



体育委員会が企画するスポーツ大会は、できるだけたくさんの子が参加し、運動に親しめるように工夫してあります。

### おもしろグランプリ 12月9日

7組のチームがエントリーして楽しいことや得意なことを披露しました。物おじすることなくステージに立つ姿が頼もしいです。客席も、思い切り笑い、手拍子を打ち、演者さんを盛り上げます。そんな温かい雰囲気を作ることができた廣谷っ子。本当にすてきな子たちだなと感じます。



## ■ 「秋のおもちゃランド」でこども園と交流【1年生】 12月10日

1年生は、こども園のお友だちを招いて「秋のおもちゃランド」を開催しました。7つのおもちゃコーナーがあるアミューズメントパークが多目的ホールにできあがりました。ふだんは学校でいちばん小さな学年の1年生ですが、自分たちよりも歳の小さい子に接すると、本当に優しい顔つきになります。異年齢での学習は教室の授業とは違う意義があるなと思います。1年生と園児さんたちの笑顔でいっぱいになった「秋のおもちゃランド」でした。



# 全国学力・学習状況調査の結果について

全国学力・学習状況調査は、児童の学力や学習状況を把握・分析し、今後の指導に生かすことを目的に実施されています。市全体の結果について11月の市広報に掲載されましたので、広谷小学校の結果と今後の対策等（国語・算数）についてお知らせします。

実施日:令和7年4月17日  
対象:6年生  
調査内容:教科に関する調査（国語・算数・理科）、生活環境や学習環境等に関する質問調査

## 1 国語について

### (1) 正答率について・・・全国平均と同程度

### (2) 正答率の高かった問題（○）とその要因

- 言葉の特徴や使い方に関する問題 → 基礎的な毎日のドリルに確実に取り組めている
- 情報と情報の関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解しているかを見る問題 → アイデアや自分の考えを、文だけでなく図を使って表す機会を積ませている
- 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができているかを見る問題  
→ 聞くことに際して、話し手と自分の考えを比較して共通点や相違点を捉えさせる指導をしている

### (3) 正答率の低かった問題（▲）

- ▲ 問題形式としては「記述式」の問題
- ▲ 各内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかを見る問題
- ▲ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る問題

### (4) 今後の改善策

- 事実と感想・意見を区別して読んだり書いたりすることを意識させる
- 「根拠」「理由」「主張」を意識して読み取ったり、自分の考えを持たせたりする指導を行う
- テキスト等の“資料”だけでなく、設問そのもの（作文の条件等を含む）を正しく読み取る指導の充実を図る

## 2 算数について

### (1) 正答率について・・・全国平均と同程度

### (2) 正答率の高かった問題（○）とその要因

- 領域では「図形」に関する問題 → デジタル教科書等の活用により視覚的な理解が深まった
- 台形の性質、角の大きさ、小数の加法の考え方、異分母の加法の計算等、「知識・技能」に関する問題 → チャレンジタイム等、反復練習による成果

### (3) 正答率の低かった問題（▲）

- ▲ 領域では「データの活用」に関する問題
- ▲  $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について、共通する単位分数と、 $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ が共通する単位分数のいくつ分になるのかを問う問題
- ▲ 数直線上に示された数を分数で書く問題
- ▲ 問題を解決するために必要な数量を見出し、知りたい数量の大きさの求め方を言葉を用いて記述できるかどうかを見る問題

### (4) 今後の改善策

- デジタル教科書や具体物操作など、視覚や活動を通して理解を深めさせる
- 自信をもって表現できる素地をつくるために、自分の言葉で表現させる時間を確保する
- 自分の考えをわかりやすく文章化していく過程を取り入れる
- 適切な情報を適切に選択し、読み取り、判断の理由を表現できるようにする指導の充実を図る